

【シンポジウム】

病院を魅力ある職場にするには ～職員やりがい度調査の活用

【座長】

遠矢 雅史 先生（公益財団法人 日本医療機能評価機構 評価事業推進部）

長谷川 友紀 先生（日本医療機能評価機構 審査部 執行理事）

【シンポジスト（敬称略）】

職員やりがい度調査を起点としたデータのギャップに注目した改善の取り組み

村上 成明 先生（青森県立中央病院 「医療の質」総合管理センター 医療の質向上推進監）

職員やりがい度調査 事例報告

萩原 隆 先生（独立行政法人 国立病院機構渋川センター 事務部長）

職員やりがい度調査の活かし方

濱田 太一 先生（社会医療法人財団白十次会 燿光リハビリテーション病院 事務長）

〔企画の趣旨〕

働き方改革への社会の関心が増大するなか、病院をいかに魅力ある職場にするかは喫緊の課題である。

公益財団法人日本医療機能評価機構では「職員やりがい度調査」のシステム提供により、参加病院のベンチマーク、情報共有を支援している。本事業に積極的に参加し、経営の質改善にも活用している3病院の取り組み事例を発表していただき、活用の状況、課題、今後の方向性などについて討議する。